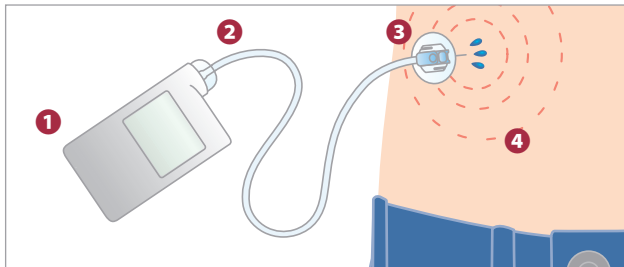


## インスリンポンプ療法の紹介

### インスリンポンプ療法とは？

インスリンポンプは、あなたの身体のインスリン必要量に合った少量の超速攻型インスリンを体内に注入する携帯型の小型機器です。

### インスリンの注入方法とは？



- 1 インスリンポンプは昼夜を通して設定したインスリン量(基礎注入)を注入するようにプログラムされています。
- 2 柔軟性のあるチューブによってインスリンがインスリンポンプから注入セットに送られます。
- 3 皮下に留置した細く柔らかいカニューレを通して少量ずつ、インスリンを体内に注入します。
- 4 インスリンが体内に吸収されます。

### インスリンポンプによるインスリン注入方法とは？

インスリンポンプによって体内にインスリンを注入する方法は2つあります。基礎(ベース)注入と追加(ボース)注入です。

**基礎(ベース)注入**とは、食事以外の時間帯に目標血糖値を維持するため、24時間365日持続的に少量のインスリンを注入する方法です。

**追加(ボース)注入**とは、主に食事や間食時に必要となる追加のインスリン注入のこと。高血糖を正常値に戻すときに必要量のインスリンを注入する方法です。

### インスリンポンプ療法が選ばれる理由とは？

- より良い血糖コントロールを実現しリスクを低減することで、あなたと赤ちゃんが、より健康的な生活をおくることが出来る可能性が高まります
- ライフスタイルに合わせた治療が可能になります
- 多彩なメニューにより、ニーズに合わせたインスリン注入や停止が可能になります
- 重篤な高血糖や低血糖予防に繋がります
- 糖尿病の合併症リスクを軽減させます

インスリンポンプ療法に関する情報をチェックできるウェブサイト

### 「インスリンポンプ療法.jp」

<http://www.medtronic-dm.jp>



インスリンポンプ療法.jp 検索

提供: 日本メドトロニック株式会社

(2014年12月公開予定)

スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます

お問い合わせは当院まで

#### 参考文献:

1. Bode BW, Steed RD, Davidson PC. Reduction in severe hypoglycemia with long-term continuous subcutaneous insulin infusion in Type 1 diabetes. *Diabetes Care*. 1996;19:324-327
2. Doyle EA, Weinzimer, Steffen AT, Ahern JAH, Vincent M, Tamborlane WV. A randomized prospective trial comparing the efficacy of insulin pump therapy with multiple daily injections using insulin glargine. *Diabetes Care*. 2004;27(7):1554-1558
3. The Diabetes Control and Complications Trial Research Group. The effect of intensive treatment of diabetes on the development and progression of long-term complications in insulin-dependent diabetes mellitus. *NEJM*. 1993;329:977-986

販売名: メドトロニック ミニメド600シリーズ  
医療機器承認番号: 22500BZX00369000

販売名: パラダイム リザーバー  
医療機器承認番号: 21800BZY10166000

販売名: パラダイム インスリンポンプ  
医療機器承認番号: 21700BZY00314000

販売名: インスリンポンプ 注入セット  
医療機器承認番号: 225ACBZX00013000



日本メドトロニック株式会社 ダイアビータス事業部

〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1

[www.medtronic.co.jp](http://www.medtronic.co.jp)



## インスリンポンプ療法について

妊娠を希望される患者さんと  
妊娠中の患者さんへ



良好な血糖コントロールにより  
あなたと赤ちゃんの未来をサポート

# 赤ちゃんの健康と良質なマタニティライフのために

～インスリンポンプ療法は妊娠中の良好な血糖コントロールを実現し、あなたと赤ちゃんの未来をサポートします～

## 赤ちゃんのために

- 妊娠期間中はインスリンの必要量に影響を及ぼす多くの変化が起こります。都度、最適なインスリン量を決定し、良好な血糖コントロールを行うことが必要になります。
- インスリンポンプ療法は、あなたのより良い血糖コントロールの実現をサポートし、赤ちゃんの先天性奇形や自然流産のリスク防止も期待できます。<sup>1</sup>
- インスリンポンプ療法は、基礎インスリンと追加インスリン注入がきめ細やかに設定できるため、より生理的なインスリン分泌に近い注入を行うことができます。

## 良質なマタニティライフのために

- 微量の追加インスリン注入ができ、途中で注入を止めることもできますので、分食や間食の時も何回でも必要量を注入できます。
- 基礎インスリンを一時的に、増減できるため、つわり、運動や急なトラブルにも細やかに対応できます。
- 必要量をプログラムされた基礎インスリン（超速効型インスリン）が継続的に注入されるため、万が一、食事を抜くことになっても対応することができます。

## あなたと赤ちゃんの未来のために

インスリンポンプは、より良好な血糖コントロールを可能にし、長期的な合併症リスクの軽減が可能になります。<sup>4</sup>



### 目の障害（網膜症）

最大で76%まで低減できる可能性があります。<sup>4</sup>



### 心血管の障害

最大で41%まで低減できる可能性があります。<sup>4</sup>



### 神経障害（ニューロパシー）

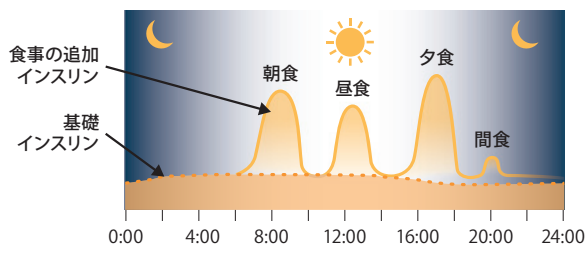
最大で56%まで低減できる可能性があります。<sup>4</sup>



### 腎障害

最大で69%まで低減できる可能性があります。<sup>4</sup>

### 生理的なインスリン分泌イメージ



## 低血糖リスクの軽減

- インスリンポンプは重度低血糖イベントリスクを最大**85%**まで低減させることが報告されています。<sup>2</sup>
- インスリンポンプを適切に使うことにより、インスリン注射に比べて目標とするHbA1c値を達成できる可能性が約4倍になるという結果も出ています。<sup>3</sup>

